

日本ペインクリニック学会  
第7回 東京・南関東支部学術集会

テーマ：「痛みを“簡潔に治す”という挑戦」

現地開催：2027年1月23日（土）  
オンデマンド配信：2027年2月13日（土）－2027年3月28日（日）

会場：ユニコムプラザさがみはら  
相模原市立 市民：大学交流センター

会長：金井昭文  
北里大学医学部新世紀医療開発センター・疼痛学  
北里大学病院緩和ケアセンター

昨今の物価高や医療費の増大により、限られた医療資源をいかに有効に活用するかは、私たち医療者に突き付けられた喫緊の課題です。痛み診療においても、治療を積み重ねることが常に最善とは限らず、集学的治療や高度なインターベンションが有効であっても、それを実践できる施設や環境は限られているのが現実です。

こうした状況下で求められるのは、「できる治療」を増やすことだけでなく、日常診療の中で実行可能で、コストやリスク、時間を抑えながらも確かな有効性が示されている治療を、あらためて選び直す視点ではないでしょうか。

本集会では、慢性疼痛治療を主軸に、特別な設備や長期間の介入を前提としない、低コスト・低リスクで実践可能な治療介入について、エビデンスに基づいて検討します。治療を「足す」ことだけでなく、「減らす」「選び直す」という判断を共有することが、本集会の目的です。

当日は、日常のペインクリニック診療に直ちに応用可能な研究データをもとに、簡潔でありながら質の高い痛み治療とは何かを、参加者の皆様とともに再考する機会となれば幸いです。